第45代 文京区議会議長・元東京23区議長会会長

しらいしひでゆき

白石英行

「ふるさと創生！」

みんなのふるさとづくり!!

TOGETHER 安心して住める・働く・育てる・学ぶ・遊べる環境。
文京区に愛着がもてる“「ふるさと」づくり”に挑戦します!!

みなさんの疑問に白石がこたえます！

Q 受動喫煙対策の方向性は？

11年前（2009年）、文京区歩行喫煙等禁止に関する条例をつくり、受動喫煙対策を実施して参りました。今後の対策には、2020東京オリンピックを見据えた国の法改正が行われます。

白石は健康増進の観点から禁煙医療助成や礫川公園内など喫煙エリアのあり方を見直していきます。

Q 特別養護老人ホームは十分なの？

高齢社会を見守る為に、高齢者・介護保険事業計画をつくり音羽・春日に整備を進め5カ所（定員458人）となりました。また、9つの高齢者安心センターを設置し、地域密着型サービスの提供など図って参りました。

白石は、更なるニーズに対応するため、新たな施設を整備すると共に、介護保険制度の安定運営を築いていきます。

Q 障害者グループホームの状況は？

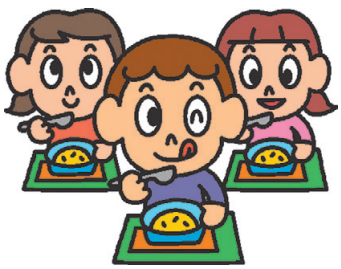
障害者・児計画をつくり、3障害11棟整備を進めてきました。

白石はノーマライゼーションやソーシャルインクルージョンの理念の深化を進め、公有地活用や民間事業者を応援し、年度毎の整備を進めます。

Q 学校給食の費用は？

食事の正しい知識や季節や伝統的な食文化を理解できるよう和食を提供し、公費にて補助をしてきました。

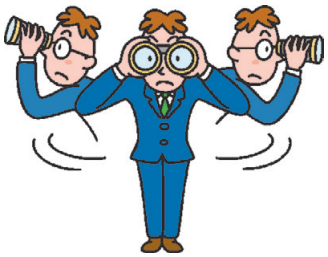
白石は様々な地域環境や自然体験できる食育になるよう、食材の地域連携を行い、ICTを活用した会計制度を導入し、学校と保護者負担軽減を実施します。



Q 区の施設利用料は適正な金額なの？

快適な施設提供が行えるよう、施設コストを明確化して性質に基づく負担割合で算出されてきました。

白石は、地域の活性化の視点から性質に基づく負担割合について、区の課題を担う団体への軽減を進めていきます。



Q 医療的ケア児の対応は？

2016年障害者総合支援法が改正され、法律に「医療的ケア児」が明記されました。この背景には高度医療により医療的ケアが必要な児童が2005年度に比べ約2倍の増加傾向があります。

白石は、相談・保育・教育環境を充実し、保護者と共に子育てをできる整備を進めていきます。

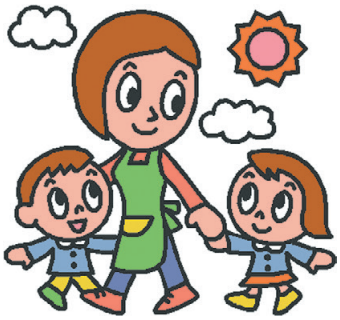
Q ひとり親家庭への対応は？

孤立することなく地域で安心して暮らせるよう、社会で支える仕組みづくりとして、母子父子自立支援員を配置や自立相談支援窓口などの相談体制をつくり、貸付・支援施設入所、児童手当・医療助成等を行ってきました。

白石は支援の充実として、自立支援やこども家庭支援センターの活躍による切れ目が無い総合的支援体制を構築していきます。

Q 保育園の整備状況は？

10年前　保育所25園2127定員であった保育需要は、その後5年間で15園859定員増員し、更に2019年度整備で95園5592定員と対策を行ってきました。



白石は、待機児童を緊急対策して施設の開所と共に運営延長や保育の質確保為に巡回指導を強化していきます。

Q 地域包括ケアシステムって何？

国は2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）推進してきました。

白石は、医療や介護・保育園・福祉施設・町会・商店など様々な団体とつながり合い、課題解決に向けて動く、総合支援体制を構築していきます。

Q 任意予防接種の助成は？

定期接種ワクチンは、接種により健康被害が起こった場合も予防接種法に基づく救済措置がとられ、任意接種の場合は異なり「医薬品副作用被害救済制度」となっています。その一方で、任意接種の安全性・効果が見られているものが医師会で多くあります。

白石は、接種の助成制度や電子カルテ

の助成を行い、感染症の予防と健康管理を図って参ります。

Q 町会活動の応援は？

国立社会保障・人口問題研究所は、5年前の予想を修正し、2030年の20万9千人のピークから人口減少とされたものが、2040年25万人をピークに人口減少するというもので、他区の予想を見てみても2030年まで5区を除いて人口が増加する予測しました。

白石は、本区の魅力である住民意識を維持し、愛着が持てるふるさとになるよう地域団体を支援していきます。また、防犯カメラなど維持費がかかる課題には、ICT活用など経費軽減を行います。

Q 自転車レーンって危なくない？

2008年、歩道上の安全確保と自転車が関係する自動車事故の削減を目的として道路交通法が改正され、自転車の歩道通行可能要件が明確化された事により、東京都において整備が進められました。

白石は、都が進める自転車優先レーンの安全性や公共交通確保の為に、地域意見を反映するよう、町会の皆さんと協議を行い、更に改善を求めていきます。

Q 無電柱化って進んでいるの？

電柱の地中化は、春日通りの拡幅と共に行われてきましたが、狭隘な歩道改善の為にその技術が生かせることが長年の願いでした。同時に、不忍池通りの歩道の真ん中にある電柱が課題でした。

白石は、巻石通りに住んでいた経験からその手法を研究し、10カ年計画の整備方針がまとまりました。各エリアで無電柱化が進むよう、膨大な経費と技法にいて、更に取り組んで参ります。

Q 議員定数の考え方は？

人口減少社会が進む中、地方議会の改革が求められます。

10エリア×3人⇒定数30

白石は、人口割りでの考える地方議員数を文京区が定める9エリア（地域活動センター）を活用して、1エリア3人とし、今後10エリアにする事を想定して、10エリア×3人の30人定数とし、現在の34名定数の1割削減を求めています。

Q 旧元町小学校活用ってどうなるの？

歴史性、防災性、公共性に配慮した保全・利活用を図るよう検討が進められてきました。

白石は、区民の大切な財産を地域・町会の方々のご意見を取り入れながら、保育園やスポーツ施設など時代ニーズも取り入れつつ、ふるさと歴史館の移設も視野に入れ整備に取り組みます。

書を伝える

後援会役員の皆さんと

ワークライフバランスの確立！

猪口邦子参議院議員と政策連携

保護司として

日本伝統を守る

地域伝統を守る

町会活動に感謝

礫川マラソン実行委員長

区内遺跡調査

あさがおほおずき実行委員として

地域の活性化

動物愛護活動

青少年育成活動

神社仏閣を守る

白石ひでゆきプロフィール

1964年9月2日 文京区小石川2丁目生まれ
1977・1980年 東京学芸大学附属竹早小・中学校卒業
1983年 日本大学豊山高等学校卒業
1988年 日本大学農獣医学部卒業
1992年 日医工㈱ 研究開発部 退社
1992年 衆議院議員 鳩山邦夫秘書（文部・労働大臣）
1999年 区議選トップ当選　以降5期連続当選
2015年 第45代文京区議会議長
2016年 特別区議長会 会長

主な活動

ボーイスカウト文京連絡協議会相談役
ボーイスカウト文京第5団委員長
都市政策研究会WAY主宰
文京区動物愛護協会顧問
全国書写書教研究連盟顧問
日中水墨画交流協会 会長
文京区なぎなた連盟副会長
学芸大学附属竹早小・中学校評議員／春日一丁目大門町会長／
礫川マラソン実行委員長／保護司など

文京区議会議員
白石 ひでゆき
連絡先：〒112-0003 東京都文京区春日1-10-9
TEL. 03-3811-5115　FAX. 03-5684-0230
E-mail: bunkyo@mail.ne.jp　http://www.shiraishi-net.com